

## 第2回 おしえて先輩！ニュース

10月19日（月）の全校朝会にて、開校110周年特別企画「おしえて先輩！」の第2回を実施しました。第2回の先輩ゲストは、元PTA会長であり、同窓会長の加藤様でした。加藤様は、林町小学校に様々な場面で関わってくださっており、在学当時やこれまでのエピソードを教えてくださいました。

【副校長】 加藤様は、いつごろ在学されていたのでしょうか？  
その時の校舎など学校の様子はいかがでしたか？

【加藤様】 今から、約60年前になります。  
その時の校舎はまだ木造でした。ちょうど木造から、鉄筋校舎への工事をしており、5年生の時には、明化小学校の校舎に通ったこともありました。また、今の体育館のあたりにプールがありました。今のプールのあたりには、木造の講堂がありました。

【副校長】 当時は、どのような遊びをしていたのでしょうか？

【加藤様】 走り回って野球をやっていました。女の子はゴム段をしていました。校庭が土でしたのでくぎをさす遊びやビー玉遊びなどもしました。

【副校長】 給食などの思い出についてはいかがでしょうか。

【加藤様】 給食で嬉しいのは揚げパンが出たときでした。みんな喜んでしました。当時は牛乳ではなく、脱脂粉乳というものを飲んでいて、私は平気でしたが、何人かの子は飲むことを嫌がっていました。ご飯は少なくパンでした。そんな給食でした。

【副校長】 加藤様は、校庭を人工芝にする際に、学校に関わられていたということですが。

【加藤様】 はい。人工芝にする際、ラバーのような校庭だったのですが、そこに子供たちみんなで絵を描きました。すごく大きな絵が見えないけれどもこの人工芝の下にあります。それを描いた卒業生は、見えないけれどもこの校庭を見ると、その絵を思い出します。

【副校長】 最後に子供たちへ、メッセージをお願いいたします。

【加藤様】 私は小学校の楽しい思い出がたくさんあります。思い出は他の人には見えないけれども心の中にあります。たくさんの思い出をつくってください。

【副校長】 加藤様、ありがとうございました。

